

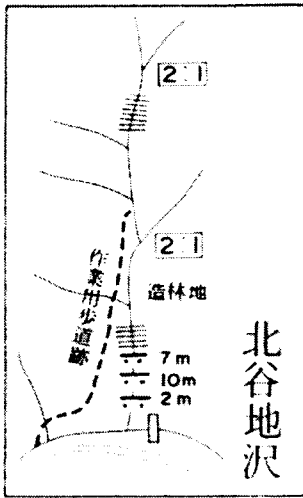
ガラ沢

一九八五年六月三〇日

入カラ沢を終えていったん中ノ沢

まで下ったあと、ガラ沢に入る。出合はヤブがかぶさり、貧弱である。

遊行を開始して一五分程で二俣に到着。この上部はスケールは小さいがナメとなっている。次に三俣、二俣と小滝が出てくるが、あとは沢が分かかれ、源頭となってしまう。ヤブがかぶさり、水もなくなった所で遊行



終了とする。所要時間は三〇分程であつた。

(記・切)

「タイム」 ガラ沢出合(九:四五)↓

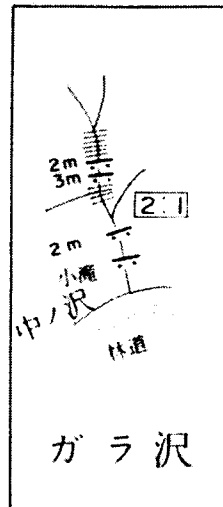
北谷地沢

一九八五年七月二七日

ゲートより林道を歩く。二〇分程

で北谷地沢出合に到着。中ノ沢に下って北谷地沢を見ると、出合に滝がかかっているのが見える。コケがついていてすべるので、右岸を登って上に出る。

幸先がよいと意気高く歩き始める



二俣(一〇:〇〇)↓遊行終了(一〇:二〇)

が、あとは平凡な河原歩きとなって

しまった。このあたり植林された一五年生くらいの杉が寒風害で赤くなっている。また、右岸には作業用の歩道が時々見えている。

平凡なままヤブがかかってくる。ひどくなってきたところで遊行終了